**２０２０年度事業報告**

**（１）遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業**

**〈日常開園〉**

**（２）子育ち・子育ての環境づくり事業**

**〈森のひろば〉**

**（３）子どもの社会参画事業**

**〈地域の子ども応援事業〉**

**（４）子どもを中心としたまちづくり事業**

**〈共同事業〉〈晴れた日には学校を休んで〉**

**（５）人材育成事業**

**〈森のランチ会〉〈みちくさクラブ〉**

**（６）広報啓発事業**

**〈名古屋市天白区補助金〉〈てんかつ〉〈広報〉**

**（７）会議の開催**

**２０２０年度事業報告**

**（１）遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業〈日常開園〉**

【開園日数・来園者数】





【プレーワーカー所感①】

　4月　22(水)　山の見回り

5月　1(金)　天白土木事務所来園(擬木、コンクリ片を回収)

　　　　2(土)　山の見回り

　　　　19(火)　ペンキ塗り

6月　9(火)　三輪車台を解体して土留めの板を打ち込む。後日ペンキを塗り看板にする。

25(木)　下の遊具場に、横の桜の枝が枯れて上から落ちてきたので、テープで立ち入り禁止と表示し、天白土木事務所へ連絡を入れる。

　　　　26(金)　天白土木事務所、枝を見に来られて立ち入り禁止のテープで囲む。

　　　　29(月)　三輪車台を作る。天白土木事務所、桜の枝を伐採しテープを回収。

7月　15(水)　“森ひろを話そう会”。土木事務所、通路の立ち枯れの木の枝を伐採。

　　　　16(木)　保護者からハチの情報が入り(遊具近くの木)、確認し天白土木事務所へ連絡する。来られてスプレーを撒きフタをして対処。

　　　　20(月)～22(水)　三輪車台作り完成。

　　　　28(火)　子どもたちが作りたいという小屋の話を天白土木事務所に連絡入れておく。確認に来てくださり、補強をすれば、夏期休園の間も置いておいてもいいと了承いただく。

8月　19(水)　“森ひろやりたい人集まれー会”

【プレーワーカー感想②】

コロナウィルス感染症の影響により、2020年は閉園（春）→時短開園（夏秋）→通常開園（秋〜）と、感染対策に努めながらも、以前より一層、外で思い切り遊ぶことに躊躇しがちな子どもたちの心境も配慮し、できるだけ開園を継続したいという思いで開園を続けてきました。それに加え、2年半に渡りプレーワーカーとしてプレーパークを支えたさよちゃんが2020年9月で退任し、新しくそらちゃん、やっちゃん、つーじーの3人のプレーワーカーが従事することになりました。

ワーカーが代わった影響からか、通常開園に戻ったのが嬉しかったのか、11月ごろは以前から来ていた常連の子どもたちが以前よりはしゃいでいるように見えました。ロープを使った遊びが流行り、小屋の上で引っ張り合いをしたり、木に引っ掛けて遊んだり、危険だなと感じる場面が多かったです。通常時間での開園になり時間が経つにつれ、子どもたちのそういった雰囲気は徐々に薄れ、落ち着いた遊びが増えてきたように感じました。

新ワーカーとして従事する中でたくさんの保護者の方から「プレーパークに来て子どもが生き生きとしだした」「親自身も自由に子どもを遊ばせることができて心に余裕ができた」などという声を聞くことが増え、プレーパークが長い間たくさんの人に愛されて支えられてる場所なんだなぁということを感じ、ここで働いていることを誇らしいと思うようにもなりました。

春休みはコロナの影響で逆に近隣の公園で過ごす方が多かったのか、プレーパークも毎日とても賑わう状況でした。小学生も多く、毎日子どもだけで来て、朝から晩までプレーパークで過ごす子たちもいました。かまどでの火起こしが魅力的だったのか、一日中かまどの前で遊びながら、たくさんの世話人さんと一日中一緒に過ごしていると「なんだか大きな家族みたいだなぁ」としあわせな気持ちになりました。

　　今後も感染状況等わからない状況ではありますが、より一層人との関わりが難しくなり、精神的に辛い思いもしている人も増えているのではないかと思います。人と人との関わりを絶やさず続けていける場所として、プレーパークの活動をできる限り続けていきたいなと思います。

【プレーワーカー感想③】

10月から土日の開園日にワーカーとして入っていますが、ワーカーと名乗るのもなかなか抵抗があるくらいにはまだ何もできていないという感覚です。現実的に、十数回しかプレーパークに来ていないので仕方ないところもあるのですが、プレーパークに来る人との関係性づくりも、てんぱくプレーパーク自体のことを知ることもまだまだなところに、僕のいない場で積み重なる日常があるわけですから、もうどんどん置いていかれております。どうしよう。おそらく日常いるワーカーとは別の役割があるのかなと思っているのですが、それは一体なんなのかはまだ見えておりません。

というところで、ここで書く機会をもらったので、現場で起こっていることはほぼ書くことがありませんが、一旦頭の中で思っていることを書いてみたいと思います。

　　様々な役割と価値があると知ってはいましたが、現場に入って一番感じたてんぱくプレーパークの良さは居場所性です。日常の親子の居場所という意味はもちろん、特に土日はプレーパークで育ってきた中高生が集まったり、昔よく来ていたという人が社会人になって顔を出したりが自然に見られる。帰ってきてホッと落ち着ける、楽しい場所でもあり、異年齢のつながり、地域のつながりは生き方見本市でもある。そういうオープンさと、積み重ねてきた深みのある希有な場所がてんぱくプレーパークだし、守って、広げていきたいと思います。

　　「遊び」については難しいと感じる日々です。まずプレーパークに来る大人も子どもも、特に土日に来るような来園頻度が低い人は「遊び方」がわからない人が多いと感じます。さらに問題の極みなのは僕も「遊び方」をわかっていない。

　　「遊び方」がわからないというのは単純に遊びのレパートリーがないというのもあるんですが、それよりも「失敗をしたくない、迷惑をかけたくない、責任を取りたくない」という、考え方の問題であると思います。なんせそういう世の中に育っているので、うまくできないからと動けなかったり、許可なしで動けなかったり、人の目を気にして動けなかったりするわけで、そうすると自分の中から沸き起こる「遊び」はできないのだと思います。

　なのでプレパはそんなこと気にしなくていい場所なんだぜ、ということを示せる人がいるといいと思うんですが、いかんせん僕もそんな育ち方をしていなくて、「遊ぶ」のにブレーキをかけてしまう人間です。いまは常連のみなさんにそこは担ってもらっているんですが、自分が勝手にかけているブレーキを緩めて僕も遊べるようになりたいなと思っています。

　　11月にかんぺーのお話会があって、そこで話されていた課題を抱える子どもの発見というプレーパークの役割について、土日の開園日に関しては、まずは初めて来ましたという人といかにつながっていくかだと思っています。が、常連の人たちとも関係性ができてない上に、そもそも誰がはじめましてで誰が常連やねんという状況なので、そこもこれからなのか、考え方を変えるべきなのか、悩んでいるところです。

【ケ　ガ】

3/14(日)　午後

　青年(22才)が屋根に上ろうと手をかけていたところ、バランスを崩して落下。

　手をついた際に、腕を骨折、脱臼

【取　　材】

1/15(日)　天白区役所　YouTube　動画撮影

【見　　学】

8/20(木)　長久手市　平成子ども塾・建設部視察

　8/27・28(木・金)　学生見学

　9/13(日)　視察(ヒアバイライト、プレーパークを立ち上げた方へのヒアリング)

　11/5(木)　学生ヒアリング

　12/3(木)　学生ヒアリング

　12/12(土)　蟹江町　子育て支援NPO　見学

　1/17(日)　碧南プレーパーク　見学

【訪 　問】

1/21(木)　守山区　つなしょ(小幡緑地冒険遊びの会)

　2/26(金)　昭和区　つなぐ未来(子ども食堂、子どもの居場所)

**（２）子育ち・子育ての環境づくり事業報告〈森のひろば〉〈講演会〉**

【森のひろば】

春の森のひろばは、日程も決め通信や掲示板で告知していたが、緊急事態宣言が発令され特別警戒都道府県に指定されたことにより中止を決めた。

　　6月プレーパーク再開後、参加者さんからの「森ひろやらないの？」の声を受け、プレーワーカーが参加者の意見を聞き取り調査。

　　7/2(木)　「森のひろばを考えよう会」を発案。まずはスタッフと意見出し。

　　7/6(月)　理事会で検討

　　7/15(水)　「森のひろばを話そう～会」開催　　やりたい人達と一緒に考えたい。

　　　　　　　8月末からの森ひろ開催を検討

　　8/19(水)　「森のひろばをやりたい人集まれー」開催。あまりの暑さに参加者は2人のみ。

　　　　　　　もう少し涼しくなってから再検討することになった。

　　9/18(金)　プチ理事会で「お試し会」を10/14(水)に開催することに決定。

　　10/14(水)　お試し会実施　　19組の参加　　バザーも同時開催。

　　　　　　　10/28(水)からの隔週開催を目指して、準備することとなった。

　　　　　　　　感染防止対策をスタッフみんなで考えて、手袋や消毒液などを買い揃え、広報。

　（秋の森のひろば）

10/28(水)～12/16(水)まで隔週で8回開催。　スタッフ2名ずつ。

　　　平均すると各回7組ほどの参加。

　（冬の森のひろば）

　　1/8(金)～3/10(水)まで隔週で10回開催。　　スタッフ1名ずつ。

　　　平均すると各回6組ほどの参加。

　　　1/14(木)から2回目の緊急事態宣言が発令されたため16日に臨時の理事会を開き対応を検討。鍋料理は止めて、一組1本の芋を提供することとした。お湯を沸かしたり、ホイル焼き、牛乳パックホットドックなどを提案。しかし、後半になるに従い、参加者さんもお芋を持参するようになると、焼き芋に追われることとなりスタッフには負担となってしまった。

≪参加者数≫　　（お試し会） 　19組

　　　　　　　　（秋8回）　　 延べ57組　１回平均7.1組

　　　　　　　　（冬10回）　　延べ63組　１回平均6.3組

≪参加費≫　　　　1回500円

≪スタッフ≫　　　7名

≪コーディネーター≫　　　　1名

≪収支≫　収入　　　　　69,500円

　　　　　支出　　　　　55,863円

内訳　　スタッフ謝金　　40,500円

　　　　　　　　　　　　　　材料費　　　　　15,363円

≪所　感≫

　　コロナ禍にあり、対応に苦慮した一年でした。みんなで、何度も話し合い、何とか開催にこぎつけました。感染防止対策の手袋や消毒液、焼き芋用の芋を購入したので経費もかさみました。

参加者は毎回6～7組でしたが、常連となった3名の方のうち、2名の方に2021年度のスタッフを引き受けていただくことができたので、開催は意義深いものでした。

**（３）子どもの社会参画事業〈地域の子ども応援事業〉**

【名古屋市社会福祉協議会地域の子ども応援事業】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日時** | **参加人数** | **概要** |
| 7/19(月)  やりたいこと会議 | 10人 | 学校が3か月休校、プレーパークも3週間休園、6月から子どもたちも通常生活が始まった。しかし日常はwithコロナ。子どもたちにフラストレーションやストレスが見られた。そして大人たちも。「やりたいこと」を聞き出すと、それはそれは溢れてきた。菓子まき、かき氷、運動会、流しそうめん、どんど焼き、鬼ごっこなど。話していると、子どもたちの日常の遊びが制限されていることを感じた。まだ解明されていないウィルスへの不安の中、やれることを模索した。好きな形の氷を作ってきたり、菓子まき、どんど焼き、花火を行った。 |
| 8/1(土)  夏のプレパまつり | 30人 |
| 8/2(日)  10/31(土)  11/14(土)  みんなのまち会議 | のべ12人 | 子どもたちが遊びを通して元気になる様子をみて、みんなのまちについても話し合うことにした。開催について子どもたちからは、今は難しいから収まるまで待ってみようと意見は出たが、やれる時にやりたい気持ちはあった。内容についても食べ物や密について様々な意見が出てきて、安全面が大事だという。学校生活で言われていることなのだが、新しい生活の変化に慣れてきているのかと、少し不安にも思った。3回の話し合いの中で、今回は人数を減らすために大人はお店を出さない、食べ物のお店ではなく工夫してお店を出そうというミッションにして行った。コロナ禍で広報があまりできなかったが、当日、自然に約15のお店が並んだ。大人たちは受付を手伝ったぐらいだ。食べ物のお店ではないので途中で閉店するお店が少なく、最後まで賑やかな雰囲気が続いた。途中からお店を考えて出す子もいて、なかなか片づけモードにならなかったが、最後は菓子まきで終えた。 |
| 11/15(日)  こどものまち | 104人 |
| 10/11(日)  12/25(金)  ドラム缶風呂で  あったまろう | のべ20人 | 新型コロナ以前は、感染対策など考えなくてもやれていたドラム缶風呂や音楽。ドラム缶風呂は火起こしから、音楽は子どもたちが気軽にできるウクレレを購入して、ワーカーたちと一緒に楽しんだ。 |
| 11/14(土)  12/24(木)  音楽をやろう | のべ12人 |
| 2/21(日)  3/12(金)  3/20(土)  プレパ卒業式会議  （振返り含む） | のべ６人振返り  約15人 | 「前ワーカーの卒業式やろうよ！」1人の子の声から始まった。誰もが卒業できる卒業式。〇年生から卒業、〇〇学校から卒業、忘れん坊から卒業など。卒業証書授与あり、ダンスや音楽の出し物あり。中心メンバー3人が話し合いを重ね、形にしていった。プレパ卒業式、そして１年を振り返りたいとプロジェクターを購入し、スライドショーをみんなで見た。高校生の作ったスライドショーは大好評。 |
| 3/14(日)  プレパ卒業式 | 72人 |

**〈** 所　感 **〉**

この事業計画を考える時は、想像もしていなかった新型コロナウイルス。今年度は経験をしたことのない1年であった。手探り状態で事業を進めていった。しかし夏のプレパまつりからプレパ卒業式を終えて、私たちは子どもたちの持つ力を改めて強く感じることができた。遊びを通してフラストレーションやストレスを１つ１つ乗り越えていく姿は力強い。どの企画をとっても、てんぱくプレーパークらしいものだったなと思う。

**（４）子どもを中心としたまちづくり事業〈共同事業、晴れた日には学校を休んで〉**

【区役所・地域力推進室(天白もりフォーラム)】

7/30(木)　竹でつくろう・竹で遊ぼう　→　コロナ禍の為、中止

【生涯学習センター子どもまつり】

毎年2月開催のところ4/25(日)に延期　→　コロナ禍の為、中止

【758キッズステーション】

　11/9(月),11/16(月),12/7(月)「そとへいこう」　(小関、庄司(志)、鹿島)

【天白子ネット】

6/2(火)　瞳きらきら　→　コロナ禍の為、中止

【あま市美和文化会館】

　9/26(土)　ミニプレーパーク　(沢井、堀田)

【おたがいさま会議】

　10/20(火)　レスキューストックヤード中心のおたがいさま会議にて活動発表

【晴れた日には学校を休んで】

毎週火曜日　10～13時(雨天は休み)　開催

参加費　1組200円+カンパ

実施回数　31回　　　参加延べ人数　98名

9/10(木)　　学習会　　　参加数　30名

12/13(月)　お話し会　 　参加数　36名

子どもの権利を考える会　　　実施回数　9回　　参加延べ人数　94名

**〈** 所　感 **〉**

コロナ禍により4月からの開始予定が6月にずれ込み、プレ事業として2019年末から行っていた会に来ていた人も、来なくなってしまっての寂しいスタートとなった。そのため公式ラインを立ち上げたりフェイスブック等で宣伝を充実させたり、テコ入れとして8月にお茶会、9月に岡崎勝さんによる教育についての学習会「コロナとこの子と学校と」なども行った。学習会には部屋の定員いっぱいである30名(スタッフ含)の参加があり、やっと認知されてきたように感じた。

　　その甲斐あってか秋からは徐々に人も増え、参加者同士のつながりも少しずつではあるが生まれてきた。別の日に参加者さん同士で児童館に行ったり、12月には緑区みんなの家という別組織を立ち上げ、自主的な居場所を始めるに至っている(月二回程度)。

　　また毎週火曜の＜晴れた日には学校を休んで会＞で、いろいろなオルタナティブ教育について知りたいという声が上がり、12月13日にお話し会『「学校」ってこんな選択肢もあるんだ！～デモクラティックスクールの子たちがやってくる☆～』を開催した。寒い中参加した大人から全員から質問や意見が出されるほど、関心の高さが伺われた。

　　しかし三学期に入り、再び緊急事態宣言が出されたこととあまりの寒さにまた参加者さんが激減。イエナプラン実践校である名古屋市立山吹小学校への見学企画を計画していたが、それも延期となってしまった。

　宣言解除後もなかなか参加者数は戻らないままであるが、自主グループの運営も始まっているためでもあり、悲観的にはとらえていない。次年度はまた新たな取り組みを考えていきたい。

　　また子どもの権利を考える会は6月より開始し、NPO関係者や福祉団体職員、カフェの店主やオルタナティブ教育スタッフなど多様な市民を巻き込み、月に一回程度開催している。

**（５）人材育成事業〈みちくさクラブ〉〈森のランチ会〉**

【 みちくさクラブ 】

　毎月　第1土曜日11時頃から開催

参加費　　一組700円

会員限定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **メニュー** | **参加** | **月** | **メニュー** | **参加** |
| 4/4(土) | 食ing | 9組 | 12/5(土) | ワンタン鍋＆ミルクカレー | 7組 |
| 10/3(土) | 倉庫片付け | 4人 | 3/6(土) | レンガ敷き | 10人 |

**〈** 所　感 **〉**

4月、長期閉園前の土曜日に縮小版みちくさクラブとし、今年は開催できなくなったてんカツ恒例「食ing」を代わりに行った。その後、年度前半は活動を休止した。開催は月末にみちくさLINEで呼びかけをしているが、参加者が5組に満たず中止することもあった(11月､2月)。みちくさクラブならではの食事を楽しむだけでなく、プレーパークとその周辺の整備を目的としていて「畑を作りたい」「炭捨て場をきれいにしたい」「森の中の倒れたり立ち枯れした木を撤去したい」などの要望が参加者から出てきている。できるところから進めていきたいと思う。

【　森のランチ会　】

毎月　原則1回10時頃から開催

参加費　一組500円・予約不要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **メニュー** | **参加人数（組）** | **月** | **メニュー** | **参加人数(組)** |
| 9/17 | タイ焼きそば | 8組 | 1/20 | 火起こし(焼き芋) | 3組 |
| 11/19 | 芋煮会 | 8組 | 2/25 | ホットドッグ  ＆　缶詰を使って | 6組 |
| 12/10 | 大人チキン | 6組 | 3/11 | アヒージョ | 10組 |

**〈** 所　感 **〉**

新型コロナウイルスにより、みんなで集まる、集まってご飯を食べるということが難しくなった。森のランチ会は正しく、集まった人たちでご飯を食べながら思い思いに過ごす。第１波の後、予想が立たない先を、どうやって事業を進めたらいいのか悩んだ。同時に、中心メンバー2人の引っ越しが決まり、寂しい思いをした。密をさけて内輪でお別れ会をしたり、話し合うために集まるだけが精いっぱいの状態だった。第２波がおさまって、少しづつ工夫をして行うことにした。　　一鍋にしたり、ホットプレートを使ったり。冬の第３波では、火起こしだけをしたり、缶詰なども使った。災害時と重なるところもあったが、私たちは生きていくために「食」はなくてはならない。どれだけ工夫するか、３人寄れば文殊の知恵ですね！

**（６）広報啓発事業〈名古屋市天白区補助金〉〈てんかつ〉〈広報〉**

【名古屋市安心・安全・快適まちづくり活動補助金】

　今年度は、広報活動に重点をおき、看板整備。チラシ作成。

【てんカツ(てんぱくプレーパーク活動応援日)】

毎月　原則第三土曜日10時から開催

参加費　大人500円　子ども100円（会員割引なし）予約不要

てんぱくプレーパークの活動を応援してもらうための事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日付 | 天気 | 内容 | 子 | 大人 | 参加者計 | 参加費等 |
| 4月 | コロナ対策のため中止 | | | | | |
| 5月 |
| 6/20 | 13～17時開園・イベント無し（カンパ箱） | | | | | |
| 7/18 |
| 8/1 |
| 9/12 |
| 10/10 | 開園・イベント無し（カンパ箱） | | | | | |
| 11/15 | 晴 | こどものまち | 78 | 26 | 104 | 10,400 |
| 12/12 | 晴 | Xmasクラフトバザー | 17 | 13 | 30 | 8,200 |
| 1/16 | 開園・西川正さん講演会中止のためイベント無し  （カンパ箱） | | | | | |
| 2/20 | 晴 | ドラム缶風呂 | 31 | 22 | 53 | 11,000 |
| 3/13 | 雨 | 宝さがし | (カンパ箱) | | | |
| 合計 |  |  | 126 | 61 | 187 | 29,600 |

**〈** 所　感 **〉**

コロナ対策のため開園できないままスタート、6月にやっと半日開園が出来た。そこからしばらくは特に内容を決めたりせず、土日ともプレーパークを開園するだけにしていた。

　　11月は土日にこどものまちを開催し、コロナ対策にも慣れてきたことから、食べ物以外の内容でやっていくこととしたが、大々的に宣伝することが心情的に憚られたり、準備が遅かったりしたことで思った以上の集客にはつながらなかった。

事業収入としてはイベントが何もない中での集金は難しく、カンパ箱を置くだけにとどめたことが多かった。そのため今年度てんカツの事業収入は非常に少ない金額となった。なお2月のドラム缶風呂は、子どもは無料としている。

日曜開園については、12月晴れた日には学校を休んで会のお話し会、3月に卒業の会などを行った。

【　広報部　】

≪通　信≫

編集部員７人

・発行　年4回（6月、9月、12月、3月）

・会議　年４回（5月、8月、11月、2月）

　　　それぞれ事業活動のお知らせや報告を、所感を交えて通信を通して様子や声を届けることができた。また子どもたちは、自分の思いやプレパの楽しい遊びを書いてくれた。

・2020年度　　印刷費　4,422円　　発送費　38,168円　　封筒・用紙代　4,178円

≪掲示板≫

　　・上の掲示板は、てんぱくプレーパークのお知らせや遊びに来る方の情報提供の場になっている。

・下の掲示板は劣化で撤去し、新しくできた乗り物置き場を天白公園利用者への掲示板になっている。

・子どもたちの手形入りの「てんぱくプレーパーク」看板を作る。

・ワーカーが、プレーパウスに看板、横幕を作る。

≪H P≫

・契約更新

・バージョンアップ

≪S N S≫

〈Facebook〉

事業のお知らせや、ワーカーや管理者が子どもの遊びを通してのブログなどをアップ

〈Instagram〉

facebookの利用者に、年齢層やグループ層の偏りがあるので、高校生の子にInstagramのアカウントの開設をお願いする。管理者３名で事業のお知らせや依頼の投稿をする。facebookと連動している。

〈Twitter〉

以前のアカウントではなく、新しく開設する。管理者1名。

≪その他の広報活動≫

　　・カラーのチラシを作り、図書館、区役所に置いてもらう。（安心・安全・快適まちづくり活動補助金を使って）

・子どもの遊びと学びを考える、市民の会で、てんぱくプレーパークの紹介をする。

・市社協助成の中間報告、来年度のZOOM会議で団体の紹介をする。

・内部広報はLINEを使用。

・raspberry団体さん（社会のために自主的に動く団体を応援）でプレーパークを紹介し、アワードの大賞をいただく。

・新聞掲載（中日新聞5月・朝日新聞2021年4月）

**（７）会議の開催**

（１）総会

ア　通常総会

（ア）開催日時及び場所

令和2年5月10日午後1:30～4:00　天白公園内

（イ）議題

　　　　　①2019年度事業報告

　　　　　②2019年度決算及び監査

　　　　　③2020年度事業計画

　　　　　④2020年度予算

　　　　　⑤2020年度役員選出

　　　　　⑥議事録署名人選出

（２）理事会

　ア　2020年4月理事会

　　（ア）開催日時及び場所

　　　　　令和2年4月9日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①森のひろば　　②総会　　③助成金事業　　④HP更新

イ　2020年5月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年5月7日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①休園期間　　②休園中の給与保障　　③総会　　④乗り物台作成　　⑤天白区まちづくり補助金　　⑥プレーワーカーから子どもたちの様子

ウ　2020年6月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年6月4日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから開園時の聞き取り　　②総会報告　　③てんカツ・日曜開園

　　④なっつと語る会　　⑤子どもの遊びと学びを考える会　⑥参加者たちの子どもたちの様子や今後の開園時の不安について話し合い

エ　2020年7月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年7月2日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②7・8月の土日開園　　③森のひろば　　④プレーワーカー募集　⑤子どもの主体的事業助成金　　⑥天白区まちづくり補助金　　⑦晴れた日には学校を休んで

オ　2020年9月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年9月3日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②今後の開園　　③てんカツ・日曜開園　　④ワーカー募集　　⑤大学生見学　　⑥こどものまち　　⑦キッズから　　⑧助成金申請2件　　⑨森のひろば

⑩晴れた日には学校を休んで

カ　2020年10月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年10月1日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②今後の開園　　③てんカツ・日曜開園　　④森のひろば　⑤IPA学習会　　⑥天白区子育てスタンプラリー　　⑦こくみん共済助成金　　⑧晴れた日には学校を休んで　　⑨プチ理事会　　⑩今後の展望

キ　2020年11月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年11月5日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②天白区子育てスタンプラリー　　③てんカツ　　④日曜開園（こどものまち）　　⑤カラーパンフレット　　⑥ランチ会　　⑦キッズプレーパーク　　⑧今後のプレーパークについて　　⑨プレーワーカー歓迎会　　⑩プチ理事会　　⑪晴れた日には学校を休んで

ク　2020年12月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和2年12月3日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②冬の森のひろば　　③てんカツ・日曜開園　　④名古屋市社協助成金申請　　⑤カラーパンフレット　　⑥晴れた日には学校を休んで　　⑦ラズベリーアワード　　⑧権利会　　⑨キッズPP

ケ　2021年1月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和3年1月7日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②西川さん講演会　　③日曜開園　　④名古屋市社協助成金

コ　2021年2月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和3年2月4日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①プレーワーカーから　　②来年度の体制　　③来年度の事業　　④てんカツ・日曜開園　　⑤備品　　⑥名古屋市社協助成金 今年度の状況　　⑦カラーパンフレット　　⑧子育て支援者交流会　　⑨子どもの遊びとプレーパーク

サ　2021年3月理事会

（ア）開催日時及び場所

令和3年3月4日10:00～13:00　プレーパーク

（イ）議題

　　　　　①てんカツ　　②2021年度見込み(プレーワーカー、理事、てんカツ、森のひろば、晴れた日、瞳きらきら、総会)　　③相談事項(HP、キッズ、子育て支援者交流会、つなしょ、つなぐ未来、チラシ掲示の依頼、カラーパンフレット)